

古来より節目には演技の良い曲や季節の楽しめる曲を謡ったり

小鼓を打ったりしていました

みなさまの新しい年が幸多き年でありますよう

新年にふさわしいおめでたい謡や小鼓をみなさんと楽しみましょう

能楽のおもしろいお話や体験もあります

新春を寿ぐ

うたい

こつづみ

謡と小鼓



実はおもしろい能楽シリーズ

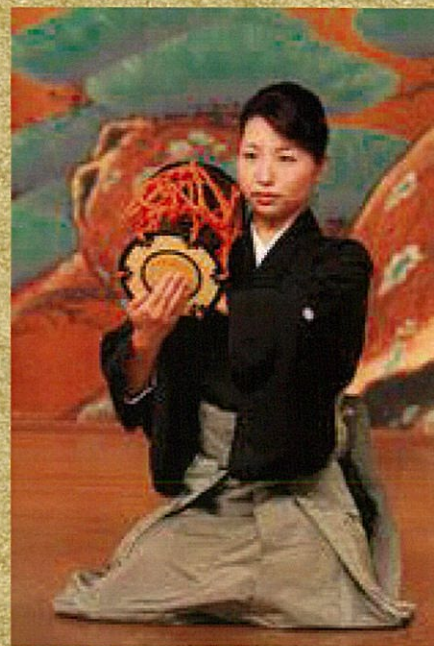
1月16日(金)

13:00~14:30

入場料 2000円(飲み物付き)

会場: 橋本二郎記念館(財)たまな創生館

玉名市滑石 536 0968-76-3312



お問い合わせ 090-1979-8168 嶋村

《出演者紹介》



寺澤幸祐

観世流シテ方

国指定重要無形文化財[能楽]総合指定保持者
公益社団法人能楽協会大阪支部常議員

昭和44年1月8日 大阪市生まれ

父寺澤忠芳、井上嘉介に師事

3歳の時「鞍馬天狗 花見」にて初舞台

1992年独立

1993年観世宗家より準職分認定

1994年独立披露にて「石橋」を披く。その後「猩々乱」「千歳」「道成寺 赤頭」「安宅 勧進帳 瀧流」等披く

2005年海外公演日本 EU 市民交流年記念ドイツ、ポーランド、リトアニア公演参加

2011年アメリカ、エストニア公演

2014年フィリピン公演 その他イタリア、ロシア、モナコ等多数参加

小学生対象のワークショップや学校公演など能楽の魅力を広める活動を積極的に行っている。



久田陽春子

能楽師 大倉流小鼓方

公益社団法人 能楽協会 正会員

重要無形文化財総合指定保持者

日本能楽会会員

能「鞍馬天狗」の子方、花見にて初舞台。

大倉流 16 世宗家 大倉源次郎(人間国宝)及び

父 大倉流小鼓方 久田舜一郎に師事。

1985 年、大阪能楽養成会入会、卒業ののち能「乱」「石橋」を披く。

2005 年、能「道成寺」にて大阪舞台芸術新人賞を受賞。

2010 年、自主公演「幸祐 陽春子 能の会」にて能「安宅」を披く

全国でも数少ない公式の舞台に出演する女性能楽師として各地で活動。

また能楽の普及および伝統芸能である能楽を守り後世に伝えていくための活動にも力を注いでいる。

夫、寺澤幸祐は観世流シテ方

叔父、久田勘鴎は観世流シテ方

長男(拓海)長女(杏海)各地の能舞台に出演中

URL

<http://www.geocities.jp/syougetukai/yasuko-hisada/>